

事務事業実績測定調書

R5調書番号 21

事務事業名称	河川改良事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができていくまち								
	実行計画名		1-3.水施策の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015 (H27) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	河川法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等の生命や財産が守れるように必要な河道改修や護岸工事などの河川整備を求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	台風・豪雨などの自然災害に対する被害の抑制・軽減により、準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等が安全・安心して生活を送ることができる。				
事業概要	枚方市が管理する準用河川の現況能力と課題を把握するため、枚方市準用河川整備基本計画を策定し、計画的に河道改修や護岸工事などの整備事業を推進することで、自然災害に強い河川環境の保全を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		準用河川整備が進むにつれて、段階的に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等が安心して生活を送ることができている。				計画通りに準用河川整備を進めることができる。				準用河川整備を実施。				
指標設定	指標説明		準用河川整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の準用河川整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の準用河川整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の準用河川整備延長距離×100】				各年度における計画の準用河川整備延長距離 ※事業展開検討中は「0」と表記			
			単位		%		単位		%		単位		m	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標（見込み）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	達成度		0%				0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	R2年度に実施した枚方市準用河川整備基本計画策定業務委託の結果を部内で共有し、今後の事業展開について検討が必要。(R3年度より継続中)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	安全確保の観点からの緊急性や整備基本計画に基づいた実行性、健全な財政運営を見込んだ中長期の整備計画に基づく計画性などの視点により財政状況も踏まえた上で総合的に判断し、整備順序や事業化の時期を検討していく。(R3年度より継続中)

事務事業実績測定調書

R5調書番号 64

事務事業名称	長尾杉線整備事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部地域の国道307号、国道1号バイパス及びその周辺道路を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	国道307号、国道1号バイパスに交通渋滞が発生しており、防災機能が損なわれている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国道307号、国道1号バイパスの交通渋滞が解消され、第二京阪道路へのアクセス道路として、地域住民の利便性や防災機能が向上されている。				
事業概要	【～平成28年度】 ・(都)牧野長尾線・長尾東町地内と国道307号((都)枚方東部線)・杉責谷地内を結ぶ東部地域の幹線道路として延長約1.7km、幅員14m及び17mの都市計画道路として整備を検討する。 ・交通量調査や将来の道路ネットワークを検証して、予測交通量を算定するとともに、その結果をもとに道路の規模やルート選定を行い、整備計画を作成する。また、費用対効果を算定した上で都市計画道路としての整備を検討する。 【平成29年度～】 ・(都)牧野長尾線から国道307号まで(L=1,750m、W=14、16m)の都市計画道路整備を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに長尾杉線の整備を進めることが出来る。				長尾杉線の整備を実施する。			
指標設定	指標説明					長尾杉線整備事業全体の進捗率				長尾杉線の整備延長距離			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					18	40	60	100	437.50	437	437	438
	実績					1	11.89	50	75	60	148	592	423.60
達成度						75%				97%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.83
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,978	9,453	14,448		
	会計年度任用職員	80	0	73		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,058	9,453	14,521		
歳入	物件費計	528,463	1,197,577	1,040,584	237,000	439.1%
	歳出計	538,521	1,207,030	1,055,105		
	国庫支出金	225,702	316,283	221,510	99,443	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	256,100	288,000	802,900	125,800	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	481,802	604,283	1,024,410	225,243	
一般財源（物件費に充当されるもの）		46,661	593,294	16,174	11,757	

5. 総括的分析

総括的分析	国道307号から第二京阪道路までの杉工区について供用開始が出来た。残る牧野長尾線までの長尾工区の整備を遅滞なく進める。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	第二京阪道路から牧野長尾線までの長尾工区の整備を遅滞なく進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 65

事務事業名称	御殿山小倉線整備事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	中部地域の京阪御殿山駅から小倉東町地区までの周辺道路を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	地域周辺道路では、地域住民・通学者の通行が多いことや、また通過交通が非常に多く狭小な道路でもあるため、安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	中部地域の交通網の強化が図られ、安全な交通環境として通学路が確保されている。				
事業概要	・市道渚星ヶ丘線から市道甲斐田三栗線まで(L=840m、W=14m)の都市計画道路整備を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに御殿山小倉線の整備を進めることが出来る。				御殿山小倉線の整備を実施。			
指標設定	指標説明					御殿山小倉線整備事業全体の進捗率				御殿山小倉線の整備延長距離			
		単位				単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					17	34	50	68	210	210	210	210
	実績					0	4.48	50	74	0	55.60	418	461.50
達成度						109%				220%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.02
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,993	13,280	15,948		
	会計年度任用職員	80	0	73		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,073	13,280	16,021		
歳入	物件費計	73,390	199,165	842,634	587,200	143.5%
	歳出計	15,463	212,445	858,655		
	国庫支出金	22,280	78,780	153,677	202,718	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	50,500	60,100	678,200	359,900	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	72,780	138,880	831,877	562,618	
一般財源（物件費に充当されるもの）		610	60,285	10,757	24,582	

5. 総括的分析

総括的分析	渚星ヶ丘線から甲斐田三栗線までの整備を進めた。ただ、令和5年度内供用開始は出来なかった。次年度初旬での供用開始を行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度4月末で供用開始を行う。また続く新たな区間として渚星ヶ丘線から渚中宮線までの予備設計に着手する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 66

事務事業名称	春日大峯線道路拡幅事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道春日大峯線を利用する市民・事業者等			
	サブターゲット	—			
	ターゲットが抱える課題	市道春日大峯線は交通量が多い一方で幅員が狭小であり、円滑な交通の流れとなっていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市道春日大峯線を利用する市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	市道春日大峯線の拡幅整備事業を行う。 ◇ 計画の道路拡幅整備延長距離の合計:L=120m ◇ 実績延長距離の合計:L=48m ◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		道路拡幅整備が進むにつれて、段階的に利用する市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに道路拡幅整備を進めることができる。				道路拡幅整備を実施。			
指標設定	指標説明	道路拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離			
	単位		%		単位		%		単位		m		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	40	40	40	40	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
達成度		0%				0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳入	歳出計	0	0	0		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域の意向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 67

事務事業名称	中振交野線整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	南部地域の府道八尾枚方線及び市道周辺(狭小な道路)を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	地域周辺道路では、地域住民・通学者の通行が多いことや、また通過交通が非常に多く狭小な道路でもあるため、安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	京阪本線連続立体交差と連携した南部地域の交通網の強化を図り、通学路の確保や地域住民の利便性と防災機能が向上される。				
事業概要	府道八尾枚方線から市道南中振21号線及び市管理道路まで(L=600m、W=16m)の都市計画道路整備を行う。 (・開発公社長期保有地があり、買戻しを進めると共に取得済用地の適正な管理を行う。)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに中振交野線の整備を進めることが出来る。				中振交野線の整備を実施。			
指標設定	指標説明					中振交野線整備事業全体の進捗率				中振交野線の整備延長距離			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					65	70	70	70	120	70	20	0
	実績					61.67	64	69	73	140	14	78	0
達成度						104%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.99
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,157	4,140	7,816		
	会計年度任用職員	80	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,237	4,140	7,816		
歳入	物件費計	91,764	50,044	63,213	146,498	43.1%
	歳出計	33,262	54,184	71,029		
	国庫支出金	8,095	11,265	759	6,375	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	12,400	8,200	56,000	133,900	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	20,495	19,465	56,759	140,275	
一般財源（物件費に充当されるもの）		71,269	30,579	6,454	6,223	

5. 総括的分析

総括的分析	蹉跎神社から府道八尾枚方線までの暫定供用開始を行った。
-------	-----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	本格供用開始に向けた業務を行い、道路整備事業を進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 68

事務事業名称	道路改良整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	法定外公共物や橋梁などの道路構造物を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害等による損傷した道路構造物については安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	損傷した道路構造物を補修することで、安全で安心な道路構造物を維持できている。				
事業概要	・法定外公共物(里道)の改良工事を行う。 ・市道の維持補修工事に該当しない道路改良工事を行う。 ・道路構造物(橋梁等)の補強工事を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		損傷した道路構造物を補修することで、安全で安心な道路構造物を維持できている。				各年度において、計画通りに損傷した道路構造物を補修を行う。				損傷した道路構造物を補修する。				
指標設定	指標説明	補修を行った道路構造物に対して市民が安全安心に利用できていると感じている割合 【算出式: 要望者などに対し聞き取りを行い、「以前より改善された」と回答した人数／聞き取り回答者数×100】				各年度における補修対象となる整備への対応率 【算出式: 対応件数／補修対象件数×100】				補修件数 (これまで事例をもとにした年間予想件数)				
	単位	%			単位	%			単位	件				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	1	1	1	1
		実績	100	100	100	-	100	100	100	-	1	1	1	-
達成度														

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.26
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,578	2,344	2,053		
	会計年度任用職員	80	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,658	2,344	2,053		
歳入	物件費計	18,302	15,519	7,463	11,500	64.9%
	歳出計	23,960	17,863	9,516		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担 (使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		18,302	15,519	7,463	11,500	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

5. 総括的分析

総括的分析	損傷した道路構造物等を補修することがなかった。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、当課が所管する道路構造物の適正な維持管理を図るため、計画的に補修などを実施していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 69

事務事業名称	牧野長尾線整備事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1994(H6)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市域北部の府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺に交通渋滞が発生している。また、住宅地内に狭小な道路も多くあり安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺の交通渋滞が緩和され、地域住民の利便性と防災機能の向上や通学路が確保されている。				
事業概要	・八田川バイパスから府道枚方高槻線まで(L=1,450m、W=16m)の都市計画道路整備を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに牧野長尾線の整備を進めることが出来る。				牧野長尾線の整備を実施。			
指標設定	指標説明					牧野長尾線整備事業全体の進捗率				牧野長尾線の整備延長距離			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					17	21	58	58	200	0	350	0
	実績					37.24	53.52	61.00	72	0	171	428	0
達成度						124%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,471	13,280	7,974		
	会計年度任用職員	80	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,551	13,280	7,974		
歳入	物件費計	270,698	503,579	299,081	218,383	137.0%
	歳出計	272,049	516,859	307,055		
	国庫支出金	0	43,710	23,271	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	147,300	39,200	79,600	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	227,299	82,910	102,871	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		43,399	420,669	196,210	218,383	

5. 総括的分析

総括的分析	長尾大池区間の整備を進めた。また、長尾大池から府道枚方高槻線までの区間の修正設計に着手した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	長尾大池区間について令和7年度供用開始に向けた整備を進める。また、長尾大池から府道枚方高槻線までの区間の整備に着手する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 70

事務事業名称	枚方藤阪線整備事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1981(S56)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市域中心部と東部地域を結ぶ幹線道路周辺を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	国道307号、府道杉田口禁野線の交通量が多く渋滞も発生しているため、防災機能が損なわれているため安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国道307号、府道杉田口禁野線の交通網の強化を図り、地域住民の利便性や防災機能が向上されている。				
事業概要	・枚方市駅から府道田口禁野線まで(L=398.5m、W=16～27m)、及び府道杉田口線から国道307号まで(L=4,075.0m、W=12.5～27m)の都市計画道路整備を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル						計画通りに枚方藤阪線の整備を進めることが出来る。				枚方藤阪線の整備を実施する。				
指標設定	指標説明						枚方藤阪線整備事業全体の進捗率				枚方藤阪線の整備延長距離			
			単位						単位		%			
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)					0	0	0	0	0	0	0	0
		実績					0	0	0	0	0	0	0	0
	達成度						0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	道路用地取得に向け地権者と交渉・継続中。
-------	----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、道路用地取得に向け地権者と協議し交渉を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。

事務事業名称	枚方市駅周辺再整備事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の商業施設及び交通機関を利用する利用者。
	サブターゲット	南部地域の交通網の強化を図り、通学路の確保や地域住民の利便性と防災機能が向上される。
	ターゲットが抱える課題	枚方市駅北口周辺の交通渋滞が発生しており、また医療機関への通院者、通学者等も多く通行しているため、安全確保が必要である。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路の整備、歩行者動線の整備により、安全な歩行空間が確保でき、渋滞が解消している。
---------------------------	---

事業概要	【平成28年度～】 枚方市駅周辺再整備ビジョン対象エリアの土地利用や事業手法等の検討を行い、これらと並行して地元検討組織等の設立に向けた支援や関係権利者等との意見交換を行った。また、枚方市駅北口・南口駅前広場の拡充、外周道路の整備、歩行者動線の整備についての概略検討を実施。 これらの検討をもとに順次、歩行者動線の整備、エスカレーター設置、外周道路の整備、京阪枚方市駅の高架下利用に取り組む。 ◇ 計画の枚方市駅周辺再整備延長距離の合計:L=385m ・エスカレーター設置:L=15m ・歩行者導線の整備:L=160m ・外周道路の整備:L=140m ・京阪枚方市駅の高架下利用:L=70m ◇ 実績延長距離の合計:L=15m ◇ 各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離 ・R3年度:0m ・R4年度:150m(高架下:L=70m、歩行者導線整備:L=80m) ・R5年度:120m(歩行者導線整備:L=80m、外周道路整備:L=40m) ・R6年度:100m(外周道路整備:L=100m)
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路の整備、歩行者動線の整備が進むにつれて、段階的に安全な歩行空間が確保でき、渋滞が解消している。				「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき計画通りに再整備を実施する。				枚方市駅周辺の再整備を実施する。							
指標設定	指標説明		枚方市駅周辺再整備(所管分)全体の進捗率				各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離に対する実績延長距離の割合				各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離						
	単位		%		単位		%		単位		m						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)		3.90	3.90	42.85	74.02	100	0	100	100	15	0	150	120		
		実績		3.90	3.90	42.85	74	100	0	100	100	15	0	150	120		
達成度		100%				100%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,264	7,812	11,053		
	会計年度任用職員	80	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,344	7,812	11,053		
歳入	物件費計	8,045	61,529	74,483	120,760	61.7%
	歳出計	13,389	69,341	85,536		
	国庫支出金	2,000	41,500	2,500	2,500	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	4,726	5,941	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,000	41,500	7,226	8,441	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,045	20,029	67,257	112,319	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方藤阪線(岡東町地区)道路整備工事及び外周道路(2工区)道路整備工事を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、道路用地取得に向け地権者と協議し交渉を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。

事務事業名称	北山通線整備事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2020 (R2) 年度		年度	～	2023 (R5) 年度	年度まで
根拠法令等	都市計画法					
関係補助金名称				サンセット		～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	北山通線周辺道路を利用する利用者。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	新名神高速道路の開通により、通過交通の増加が予想されている。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	通過交通を円滑にアクセスさせることで渋滞を緩和させ、効率的な物流ネットワークを形成できている。					
事業概要	本路線は、枚方市の北道部地域を南北に連絡し、都市計画道路内里高野道線及び令和5年開通予定の新名神高速道路への重要な幹線道路である。この中で大阪府が主体となって進めている内里高野道線整備と連携して整備を行うことで、自動車交通を円滑にアクセスでき、また、他府県との地域レベルの交流を強化することで物流ネットワークを形成することができる。 【R2】 詳細設計 (L=0.12km ， W=12～15m) 【R3～R5】 整備工事3ヶ年 (L=0.12km ， W=12～15m)					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに北山通線の整備を進めることができる。				北山通線の整備を実施する。			
指標設定	指標説明					北山通線整備事業全体の進捗率				北山通線の整備延長距離			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	33	66	100	0	40	40	40
		実績				0	8	61	95	0	9.6	97	0
達成度						95%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.89
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,478	2,187	7,027		
	会計年度任用職員	80	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,558	2,187	7,027		
歳入	物件費計	61,887	77,240	17,690	90,000	19.7%
	歳出計	66,445	79,427	24,717		
	国庫支出金	24,810	15,410	16,495	16,362	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	27,300	12,100	7,100	69,100	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	52,110	27,510	23,595	85,462	
一般財源（物件費に充当されるもの）		9,777	49,730	0	4,538	

5. 総括的分析

総括的分析	北山通線の整備を進め、新たな交差点への切替えを行った。ただ、年度内の完了は出来なかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度初旬の完成に向けて整備を進める。また旧路線部の活用についても検討、整備を進める。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 84

事務事業名称	交通バリアフリー道路整備事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度			年度	～	年度まで	
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律						
関係補助金名称					サンセット		～
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等					
	サブターゲット	鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する市民・事業者等					
	ターゲットが抱える課題	高齢者・障害者等が通行するにあたり、バリアフリー化が実現できていない歩道がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等の誰もが安心して安全快適に利用できている。						
事業概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく「枚方市バリアフリー基本構想」、「星ヶ丘・村野駅周辺地区バリアフリー基本構想」により策定した道路特定事業計画により、重点整備地区5地区の生活関連経路のうち市道に関するバリアフリー化(歩道段差解消、勾配改良、誘導ブロック設置等)の整備を図る。						
	◇計画のバリアフリー道路整備延長距離の合計:L=2,570m(5重点整備地区) ・御殿山駅周辺地区:L=1,010m、宮之阪駅周辺地区:L=540m、牧野駅周辺地区:L=570m、津田駅周辺地区:L=150m、星ヶ丘駅・村野駅周辺地区:L=300m						
	◇実績延長距離の合計:L=520m ・H30年度:200m、R1年度:130m、R2年度:190m						
	◇各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離 ・R3、R4年度(債務設定):350m(R3:120m、R4:230m) ・R5年度:290m						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		各重点整備地区のバリアフリー化が進むにつれて、段階的に鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等の誰もが安心して安全快適に利用できている。				計画通りにバリアフリー道路整備を進めることが出来る。				バリアフリー道路整備を実施。					
指標設定	指標説明		バリアフリー道路整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画のバリアフリー道路整備延長距離の合計×100】				各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離×100】				各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離				
			単位	%											単位
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)		20	24.90	33.85	45.13	100	100	100	100	190	120	230	290
		実績		20	24.90	33.85	45.13	100	100	100	100	190	120	230	290
	達成度		100%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.86
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,986	4,765	6,790		
	会計年度任用職員	53	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,039	4,765	6,790		
	物件費計	25,160	40,486	41,119	50,000	82.2%
歳出計		28,199	45,251	47,909		
歳入	国庫支出金	5,193	22,000	19,540	19,140	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	3,800	16,200	19,200	27,700	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	8,993	38,200	38,740	46,840	
一般財源（物件費に充当されるもの）		16,167	2,286	2,379	3,160	

5. 総括的分析

総括的分析	津田駅周辺地区（津田春日線）及び牧野駅周辺地区（阪第17号線）の整備工事を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、財政状況等を勘案し計画的にバリアフリー化整備事業を進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 85

事務事業名称	市道尊延寺穂谷線拡幅事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2001 (H13) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道尊延寺穂谷線を徒歩で小学校に通う児童			
	サブターゲット	市道尊延寺穂谷線を徒歩で利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	市道尊延寺穂谷線の幅員が狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市道尊延寺穂谷線を徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道尊延寺穂谷線の拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。 ◇ 計画の道路拡幅整備延長距離の合計:L=290m ◇ 実績延長距離の合計:L=133m ◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		道路拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに道路拡幅整備を進めることが出来る。				道路拡幅整備を実施。								
指標設定	指標説明		道路拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離							
			単位		%				単位		%				単位		m	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)	46	45.86	45.86	45.86	0	0	0	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	達成度		0%				0%				0%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地権者の動向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 86

事務事業名称	踏切道(交野・第一藤阪)拡幅事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道王仁公園前線を徒歩で小学校に通う児童			
	サブターゲット	市道王仁公園前線を徒歩で利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	市道王仁公園前線の歩道に狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道王仁公園前線を徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道王仁公園前線(第一藤阪踏切)の歩道拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。 ◇ 計画の歩道拡幅整備延長距離の合計:L=56m ◇ 実績延長距離の合計:L=35m ◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）							
		歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに歩道拡幅整備を進めることができる。				歩道拡幅整備を実施。							
指標設定	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の歩道拡幅延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅延長距離×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離							
	単位		%		単位		%		単位		m						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標（見込み）		62.50		62.50		62.50		0		0		0		0	
		実績		0		0		0		0		0		0		0	
達成度		0%				0%				0%							

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				踏切道(交野・第一藤阪)拡幅整備対象区画における、すべての用地を取得できる。				踏切道(交野・第一藤阪)拡幅整備に係る用地取得を実施。				
指標設定②	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合 【算出式:実績用地取得面積の合計/歩道拡幅整備用地取得面積の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積				
		単位		%		単位		%		単位		㎡		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	62.50	62.50	62.50	62.50	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	0%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	0	0	0		
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
歳入	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	0	0	0		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地権者の動向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 96

事務事業名称	自転車通行空間整備事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	2017 (H29) 年度			年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁							
関係補助金名称					サンセット		～	
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民						
	サブターゲット	自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を自転車で利用する市民等						
	ターゲットが抱える課題	歩行者と自転車の錯綜により安全に通行できない環境である。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民及び自転車で利用する市民等が安心して安全快適に利用できている。							
事業概要	枚方市自転車活用推進計画に位置付けられた枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画に基づき、歩道を走行する自転車を車道に誘導し、安全で快適な自転車の通行空間及び歩行空間の整備を図る。 ◇ 計画の自転車通行空間整備延長距離の合計:L=32,600m ・北部地区:L=9,400m、中部地区:L=5,800m、東部地区:L=6,000m、南部地区:L=11,400m ◇ 実績延長距離の合計:L=3,450m ・H30年度:2,500m、R1年度:750m、R2年度:200m ◇ 各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離 ・R3年度:1,480m ・R4年度:1,410m ・R5年度:1,700m							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		自転車通行空間整備が進むにつれて、段階的に自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民及び自転車で利用する市民等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに自転車通行空間整備を進めることが出来る。				自転車通行空間整備を実施。				
指標設定	指標説明	自転車通行空間整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の自転車通行空間整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離×100】				各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離				
		単位		%		単位		%		単位		m		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	10	15.12	19.44	24.66	100	100	100	100	200	1,480	1,410	1,700
		実績	10	13.70	24.83	33	100	67.57	258	155	200	1,000	3,640	2,640
達成度		134%				155%				155%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.36
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,321	4,765	2,842		
	会計年度任用職員	80	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,401	4,765	2,842		
歳入	物件費計	23,909	35,923	34,555	41,000	84.3%
	歳出計	28,310	40,688	37,397		
	国庫支出金	4,700	17,600	8,566	8,566	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	3,400	12,900	23,300	33,300	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	8,100	30,500	31,866	41,866	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15,809	5,423	2,689	0	

5. 総括的分析

総括的分析	禁野第3号線、都御殿山小倉線及び都長尾杉線の整備工事を実施した。
-------	----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、財政状況等を勘案し、他事業との調整や連携を図りながら計画的に自転車通行空間整備事業を進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 97

事務事業名称	中宮区第33号線他歩道フラット化整備事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3			R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生			
	サブターゲット	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	中宮区第33・34号線の歩道の段差により通学児童をはじめとする歩行者の安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生並びに市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、中宮区第33・34号線の歩行空間を確保する等の道路空間再配分事業を図る。 ◇ 計画の道路空間再配分整備延長距離の合計:L=630m ◇ 実績延長距離の合計:L=0m ◇ 各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離 第1期工事:L=180m(未定) 第2期工事:L=260m(未定) 第3期工事:L=190m(未定)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		道路空間再配分整備が進むにつれて、段階的に歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生並びに市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに道路空間再配分整備を進めることができる。				道路空間再配分整備を実施。				
指標設定	指標説明	道路空間再配分整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路空間再配分整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離×100】				各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離				
		単位		%		単位		%		単位		m		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	0%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	他事業との調整や連携を図るとともに財政状況等を勘案し、事業の着手時期を検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 98

事務事業名称	歩道拡幅整備事業(枚方新香里線)										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	2022(R4)年度	年度まで
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市道枚方新香里線を徒歩で小学校に通う児童				
	サブターゲット	市道枚方新香里線を徒歩で利用する市民・事業者等				
	ターゲットが抱える課題	市道枚方新香里線の歩道に狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道枚方新香里線の歩行空間の確保により、徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安全・安心して円滑に移動することができる。					
事業概要	子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道枚方新香里線の歩道拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。 ・R2年度:詳細設計 ・R3年度:用地取得予定(面積:約125㎡) ・R4、R5年度:整備工事予定(延長:約142m)					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに歩道拡幅整備を進めることができる。				歩道拡幅整備を実施。			
指標設定	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離			
	単位		%		単位		%		単位		m		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	49.30	100	0	0	100	100	0	0	70
	実績	0	0	49.30	100	0	0	100	100	0	0	70	72
達成度		100%				100%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				歩道拡幅整備に係るすべての用地を取得できる。				歩道拡幅整備に係る用地取得を実施。				
指標設定 ②	指標説明		歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合 【算出式:実績用地取得面積の合計/歩道拡幅整備用地取得面積の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積			
			単位		%		単位		%		単位		㎡	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	49.30	100	0	100	100	100	0	125	0	0
		実績	0	0	49.30	100	0	100	100	100	0	125	0	0
	達成度		100%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.23
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,907	3,984	1,816		
	会計年度任用職員	27	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,934	3,984	1,816		
歳入	物件費計	8,148	9,592	38,888	36,000	108.0%
	歳出計	11,082	13,576	40,704		
	国庫支出金	2,200	4,510	12,951	15,840	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	1,600	3,300	12,200	20,700	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,800	7,810	25,151	36,540	
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,348	1,782	13,737	0	

5. 総括的分析

総括的分析	R4年度から歩道拡幅整備工事に着手し、R5年度に工事完了。
-------	-------------------------------

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	R5年度に工事完了。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 581

事務事業名称	橋梁長寿命化修繕事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名	1-2.防災対策の推進								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	橋梁を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	橋梁を利用する事業者すべて。			
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。			
	ターゲットが抱える課題	橋梁を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞る。			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	ライフサイクルを見据えた管理が確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、橋梁を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	平成24年度に策定した枚方市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全並びに、維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修や耐震基準に基づく耐震補強工事を行う。また、令和2年度の計画見直しにより補修が必要と判断された31橋についても、計画的に工事を行う。 【H24 計画】 H25～R2 施工数 N=35橋 【R2 更新計画】 R 3～R12 施工数 N=31橋				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						橋梁が適切に維持管理できている。				橋梁長寿命化に向け、必要な修繕を行う。							
指標設定	指標説明					橋梁長寿命化計画における各年度の進捗率 【算出式:修繕済橋梁数/計画修繕予定橋梁数×100】				修繕橋梁数							
					単位		%		単位		橋						
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値									R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)								-	100	100	100	-	6	5	2
実績										-	100	100	100	-	6	5	3
達成度						100%				150%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.47
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,536	7,187	3,711		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,536	7,187	3,711		
歳入	物件費計	60,016	69,782	15,978	61,170	26.1%
	歳出計	63,552	76,969	19,689		
	国庫支出金	12,980	20,950	5,701	13,023	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	11,100	13,500	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	24,080	34,450	5,701	13,023	
一般財源（物件費に充当されるもの）		35,936	35,332	10,277	48,147	

5. 総括的分析

総括的分析	防災上、道路ネットワーク上において重要な路線と位置付ける141橋梁について、枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和5年度は、3橋の修繕工事を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	本事業は、国の交付金を積極的に活用し、今後も枚方市橋梁長寿命化計画に基づき修繕補強工事を実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 585

事務事業名称	主要道路リフレッシュ整備事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち							
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性		選択的事業		区分		一般事務事業	
事業期間	2005(H17)年度			年度	～	年度まで				
根拠法令等	社会資本整備重点計画法									
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金					サンセット		～		
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	市内の主要幹線道路を利用する市民すべて。								
	サブターゲット	市内の主要幹線道路を利用する事業者すべて。								
	ターゲットが抱える課題	市内主要幹線道路は交通量も多く、道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞り、事故も増える。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進み、事故も減っている状態。									
事業概要	開通時からの利用状況の変化に舗装構造が合わなくなった主要幹線道路の12路線に対して、地盤等の調査結果を基に、現在の利用状況にあった舗装構成に改築及び更新(リフレッシュ整備)を行う。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画的に整備延長を修繕できている。				市内の主要幹線道路12路線のうち、路面損傷や支持力等の調査の上、リフレッシュ整備を行う。			
指標設定	指標説明					計画予定延長のうち、整備延長の割合 【算出式:整備延長/計画予定延長×100】				主要路線の整備延長			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					38	38	38	38	1,090	1,090	1,100	1,100
	実績					18	17	136	0	200	740	1,501	0
達成度						0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,614	7,578	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,614	7,578	0		
歳入	物件費計	118,865	254,379	0	152,662	0.0%
	歳出計	122,479	261,957	0		
	国庫支出金	48,554	106,500	0	24,802	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
歳入	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	64,400	106,400	0	532,200	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	112,954	212,900	0	557,002	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,911	41,479	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	安全で快適な道路環境の確保を図るため、主要幹線道路や都市計画道路など12路線の路面の補修等を行うリフレッシュ整備を計画的に推進している。令和5年度においては、社会資本整備総合交付金が当初での配分がなく、補正での配分のため実施できていないが、令和6年度に繰越しを行い実施する予定。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	計画予定延長を実施できるように、今後も交付金(加速化対策)の活用を積極的に行い整備を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 885

事務事業名称	道路河川整備課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川整備課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	他部署との連絡調整、課内での情報の共有化を行い適正かつ迅速に業務を行う。				
事業概要	行政評価及び事業計画等に関する事務 ・庁内外への照会・回答処理事務 ・財務会計事務 等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,028	8,203	9,079		
	会計年度任用職員	53	0	73		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,081	8,203	9,152		
	物件費計	11,489	12,725	13,574	12,782	106.2%
歳出計		16,570	20,928	22,726		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		11,489	12,725	13,574	12,782	

5. 総括的分析

総括的分析	他部署との連絡調整及び課内での情報の共有化を行い適正かつ迅速に業務を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正かつ迅速に業務を行っていく。

事務事業名称	歩道拡幅整備事業(中振新香里線)									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	R5年度(2023年度)		年度	～	R6年度(2024年度)	年度まで
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市道中振新香里線を徒歩で小学校に通う児童、高校に通学する生徒				
	サブターゲット	市道中振新香里線を徒歩で利用する市民・事業者など				
	ターゲットが抱える課題	市道中振新香里線の歩道が狭いため、児童・生徒や市民などが車道にはみ出して通行し危ない状況				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	周辺にある小学校・高校の児童・生徒や市民などが安全に利用できる歩道					
事業概要	児童・生徒や市民などが安全に利用できる歩行者空間の確保をするため、通学路として主に利用されている南側の歩行空間約590mの内、約124mにおいての歩道拡幅整備を行う ・R5年度:基本設計委託予定(対象路線約590m) ・R6年度:詳細設計委託等、拡幅工事予定(部分的な歩道拡幅約124m)					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		歩道拡幅整備ができるにつれて、周辺にある小学校、高校の児童・生徒や市民・事業者が安心して安全快適に利用ができている	計画通りに歩道拡幅整備を進めることができる	歩道拡幅整備を実施
指標設定	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】	各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離×100】	各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離
		単位 m	単位 %	単位 %
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	- - - 0	- - - 0	- - - 0
	実績	- - - 0	- - - 0	- - - 0
	達成度	0%	0%	0%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.28
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	2,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	2,211		
	物件費計	0	0	6,448	10,000	64.5%
歳出計		0	0	8,659		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	5,000	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	5,000	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	1,448	10,000	

5. 総括的分析

総括的分析	R5年度は予備設計委託に着手し、R6年度詳細設計委託の発注に向けた検討を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、詳細設計委託に基づき歩道拡幅整備工事を進めていく。